

朝日町における部活動地域展開の取り組み

自治体の現状と課題

少子高齢化が進む中で、地域社会全体で子どもの成長を支える仕組みが求められています。朝日町においても、部活動の地域展開に係る方針が示されてから、今日まで情報収集を行い準備を進めております。当町では、令和11年4月に義務教育学校「あさひ未来学園」の開校を予定しており、子どもたちを中心に、保護者や地域を取り巻く環境が大きく変化することになります。この大きな変化の機会に、部活動の地域展開を含めて、子どもたちをはじめ、多世代がスポーツや芸術文化活動に触れる多くの機会を創出しつつ、子どもたちから豊かな経験を積み重ねてもらう場をつくっていきたいと考えております。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	1校	全生徒数	116人
域内の部活動数	9部	実施した地域クラブ数	6クラブ
全体の指導者数	—	全体の運営スタッフ数	—
主な運営団体	地域主体の任意クラブ		
主な種目	バスケットボール、卓球、柔道、剣道、軟式野球、ソフトテニス		
平均的な活動回数	—	年間平均参加生徒実数	—
参加会費	クラブによる	主な活動場所	朝日中学校

地域展開関連の取組・成果

【地域おこし協力隊の任用】

総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、町における部活動地域展開に係る取り組みを推進するため、「地域スポーツ・文化活動推進員」として任用しています。

軽いフットワークで地域に飛び出すことができる隊員の特色を生かして、主に地域展開の総合マネジメント役として活躍していただいております。地域でのさまざまなつながりを活かして、地域のスポーツ・芸術文化団体との情報交換等の機会を設け、持続可能な体制づくりや、体験イベントなどの実施に向けて尽力しています。また、児童・生徒、保護者、教職員へのアンケート調査を実施し、求められている活動内容等への対応や課題を整理しつつ、企画立案に努めているところです。

【お試し体験イベントの開催（スポーツ・芸術文化活動）】

芸術文化活動を体験する「あさひ学びタイト」、遊びながらレクリエーションスポーツ等を体験する「みんなで遊びタイト」と称して、多世代が多種多様な体験ができる機会を創出するために、教育委員会主催で実施しております。

さまざまなスポーツ・芸術文化活動を気軽に体験できる場として、マルシェ形式のブース展開とし、申込み不要でできる内容で開催しています。活動を選択したり、はじめたりするきっかけをつくりながら、町内におけるスポーツ、芸術文化活動への関心を高めることにつながっています。少しずつではありますが、その体験した方々が各団体へ入会したり教室に参加したりすることが増えてきているところです。

朝日町における部活動地域展開の取り組み

活 動 の 様 子

文化活動等お試し体験会 あさひ学びタイト



健康のスポーツマルシェ みんなであそびタイト



地域でのスポーツ・芸術文化活動活性化に向けたイベントの様子